

## 介護保険の事業計画

(2012年度～14年度まで)

意見を募集中！(1月5日～2月3日)  
高齢者支援課担当。意見を出し、計画に反映させましょう

(声) 保険料  
が高すぎる

特養ホーム  
に入れない

12月市議会

### 保険料「低所得者の負担 軽減に配慮する」と答弁

12月市議会の一般質問で、「第5期介護保険事業計画」の考えや、保険料の負担軽減などを質問。答弁内容を紹介します。



### 次期計画 の考え方

「介護保険がスタートして11年。社会保障の削減路線のもとで負担増やサービス削減が繰り返され、制度の矛盾が噴出していきます。私は12月議会でも、市はどのような考え方で12年度以後「第5期介護保険事業計画」を継続していく」と答弁。

介護保険がスタートして11年。社会保障の削減路線のもとで負担増やサービス削減が繰り返され、制度の矛盾が噴出していきます。私は12月議会でも、市はどのような考え方で12年度以後「第5期介護保険事業計画」を継続していく」と答弁。

福祉部長「介護予防 医療 生活支援 住まい」5つのサービスを一体化していく『地域包括ケア』を継続していく」と答弁。私は、どこに重点を

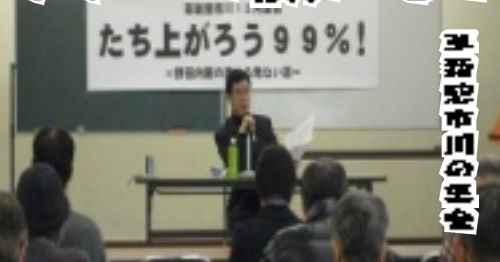
置いて事業を進めるのか。新しい事業計画に高齢者の実態や住民要求を反映させていくのかと質問しました。

### 認知症家族へ 支援を検討



福祉部長「認知症支援の充実 医療との連携 住居に係る施策との連携 生活支援サービス」の充実を重点的に取り込む。特に認知症対策は新たな基本目標を掲げ、認知症を含めた介護家族への支援

## 99%の願いをひとつに



革新懇市川による講演会が12月行われ、市民70名が参加しました。「野田内閣の進める危ない道と私たちの課題」と題し、渡辺治氏(一橋大学名誉教授)が講演。渡辺氏は「いまこそ構造改革政治に終止符をうち、99%の国民のための社会をつくる新しい福祉国家型社会の実現を」との訴えに、参加者は元気と勇気をいただきました。

革新懇市川による講演会が12月行われ、市民70名が参加しました。「野田内閣の進める危ない道と私たちの課題」と題し、渡辺治氏(一橋大学名誉教授)が講演。渡辺氏は「いまこそ構造改革政治に終止符をうち、99%の国民のための社会をつくる新しい福祉国家型社会の実現を」との訴えに、参加者は元気と勇気をいただきました。

### 地域 市長に要望書提出

日本共産党の曾谷支部、宮久保支部、大柏支部と私は12月18日、大久保市長に市政アンケートで寄せられた身近な道路交通安全で要望書を提出しました。要望は、



市の巨理道路交通部長に要望書を渡す曾谷・宮久保・大柏の支部長(共産党控室)

側溝の新設や信号機の設置、歩道の拡張、カーブミラーなど29項目。道路交通部長、道路安全課長が対応。支部長の説明に対し調査・検討し回答を約束しました。

### 保険料基準額の推移(市川市)

年度	月額	年額
2002～05年	3,140円	37,680円
06年～08年	3,700円	44,400円
09年～11年	3,840円	46,080円
12年～14年	検討中	検討中

### 減免制度の 周知に努める

福祉部長は、「要介護者認定者の増加や介護職員報酬アップ等で、保険料を引き上げざるを得ない、きめ細かい保険料段階の見直しを

策を検討していく」と答弁しました。厚労省は、保険料について、月平均5千円を超える試算。私は、市基準額の試算、また、低所得者への負担軽減、減免制度充実の考えを質問しました。

### 介護予防・日常 総合支援事業

総合支援事業について、福祉部長は、「国の動向をふまえないよう、導入の妥当性を検討する」とし、直ちに実施する考えはないとの見解を示しました。

# 土砂災害 (がけ崩れ、土石流、地滑り) から命を守る

## 千葉県が土砂災害の恐れがある市川市の崖地調査実施

宮久保4丁目の崖地整備が行われた場所。格子状の構造物で斜面を押さえ、植物を残す工法を採用 (写真) 傾斜は54、高さ6.6m、工事期間は3ヶ月(09年~11年度)



12月市議会の一般質問で、土砂災害防止法による区域指定に対する市の考えを質問しました。その答弁要旨をお知らせします。

市川市の北東部・西部地域は崖地が多く点在しています。

千葉県が「土砂災害防止法」により、平成20年度から災害の恐れのある区域を調査し、ソフト対策を推進する事業を実施しています。

### 指定区域 40ヶ所

市内指定区域は40ヶ所で、影響を受ける地



崖地の上の道路を調査し、市に改善を求める(写真)

権者322名、居住者1134名です。

指定区域には、土砂災害の恐れのある警戒区域(イエローゾーン)と特別警戒区域(レッドゾーン)があります。イエローゾーンは崖下から高さ2倍の範囲で、危険の周知、災害情報をいち早く正確に伝達し避難できるようにするための体制の整備やハザードマップなどでの周知を行います。レッドゾーン区域は、さらに住宅等の構造強化を義務付けるなどの規制が行われることとなります。

## 菅野公民館で手抜き工事? 議会でも部長陳謝



昨年春に完成した菅野公民館。ところが利用者から「会話の音が反響して聞きづらい」との苦情が寄せられました。

共産党の清水市議が12月議会の一般質問で改善を要求。それに対し、生涯学習部長は「音を吸収する防音材を部屋に使用していなかった。利用者に迷惑をかけ申し訳ない」と陳謝。市が責任を認め、「対応として壁・天井等に厚さ50mmの防音材、吸音シート等を設置し、吸音効果を高める処置を早急に行う」と答弁しました。

## 納得できる説明会を

私は、議会で、住民が納得する説明会をくり返し開くよう求めました。市は「個別の説明と同時に、要望があれば区域の説明会も再度行っていく」と答弁しました。

## 北消防署が開設



大震災から市民の命と財産を守る消防力の強化は益々重要となっています。



昨年開設した北消防署

このほど大野町3丁目に、北消防署が新たに建設され、曾谷から移転しました。市の北部地域の災害救急対応の拠点として消防ポンプ車1台と人員が増強され、消防力が充実され、11月26日から業務を開始しました。曾谷の消防署は出張所として引き続き使用されています。



正月、箱根駅伝で若者が全力で箱根路を駆け抜ける姿をテレビで見ました。こうしてはいられないとばかりに、少々重くなった腰を上げようと気持ちを切り替えたところです。今年も解散・総選挙も予想される激動の年となる年にしたいと思っています。本年もどうぞよろしくお願ひします。

## 編集後記

お気軽に相談を

仕事くらしの悩み

連絡先 金子貞作 337-6184 (夜間)